

— 「未来を育む地域クラブ共創プロジェクト」推進に向けて —

連携先	これまでの取組 (令和5~7年度)	現在地	これから求められること
 企業	<ul style="list-style-type: none"> 企業協賛や民間連携の検討開始 交通事業者との意見交換を実施 地域課題解決型の共創可能性を協議 産官学連携フォーラム等を通じた関係構築 	<ul style="list-style-type: none"> 一部地域で企業連携が実証段階へ移行 交通や運営効率化、保険等との接点形成が進展 一方で、継続的な協賛モデルや運営スキームは未成熟 	<ul style="list-style-type: none"> 企業協賛モデルの具体化 共創プラットフォームの形成 交通や運営効率化等の民間ソリューション実装 「公費依存型」から「共創型」への転換
 大学	<ul style="list-style-type: none"> 県内大学と連携した調査研究を実施 学生派遣やフィールドワークを推進 指導者養成プログラム開発を検討 専門人材による遠隔指導を試行 	<ul style="list-style-type: none"> 大学との連携基盤は概ね形成 教育やスポーツ、公共政策分野等との接続が進展 研究成果と地域実装の接続が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 実証研究や効果検証の強化 指導者養成モデル構築 若者や学生の地域参画拡大 専門知見を活用した地域支援の高度化
 部局 (庁内連携)	<ul style="list-style-type: none"> 保健体育課を中心に他部局横断協議を開始 (文化・スポーツ/交通政策 等) 交通政策、文化、スポーツ等と連携 安全対策や移動課題への対応を強化 平日の放課後のあり方検討を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 「部活動改革」から「地域政策」へ発展段階 交通や文化、地域政策との連動が進展 一方で、全庁的推進体制は発展途上 	<ul style="list-style-type: none"> 全庁横断型の推進体制構築 「放課後モデル」としての再設計 交通や文化、地域創生との統合的推進 モデル地域実証から全県展開への移行

これから求められる方向性

 「量的整備」から「質的充実」へシフト	 「行政主導」から「産官学共創」への転換	 「単年度事業」から「持続可能な地域モデル」への転換	 分科会による具体設計 → モデル地域実証 → 全県展開の加速	 公費依存を抑えた、自立的運営モデルの構築
---	--	--	---	---

未来を育む地域クラブ共創プロジェクト全体構造



“戦略パートナー”に期待する役割

本プロジェクトでは、単なる事務支援ではなく、以下を一体的に推進できる「戦略パートナー」を求めている。



 構想形成	 共創スキーム設計	 モデル地域伴走
 民間ネットワーク活用	 広報・ブランド戦略	 横展開モデル構築